１月１２日（木）のＥＰ１３総合討論は

次のように進めたいと考えています（一部改訂）

2016-12-26　原島

日時：２０１７年１月１２日（木）１８：４５～総合討論　２０：２５～懇親会

会場：工学部２号館３階電気系会議室１、３（安田講堂横の松本楼がある建物）

　　１１月１７日と同じ会場です。講義をしている福武ホールではないのでご注意ください。

参加講師：小宮山宏先生、永井良三先生、横山禎徳先生、秋山弘子先生（EP12,14予定）

梶田隆章先生（EP12）、小野塚知二先生、坂井修一先生（EP13）、原島博

（お忙しい先生方ばかりですので、変更の可能性があります）

スケジュール

１８：４５～１８：５５　オリエンテーション

（簡単に名前、研究科、研究キーワードなど各自１０秒程度自己紹介をしていただきます）

１８：５５～１９：２５　分科会１

１９：２５～１９：５５　分科会２

１９：５５～２０：２５　分科会３　（正規の講義終了）

２０：２５～　懇親会　（ぜひ参加して交流を深めてください）

分科会の進め方

　今回の総合討論は、講師の先生との質疑応答ではなく、受講生同士の討論を中心にします。

先生方はアドバイザとして陪席する形になります。

分科会でのテーマ

　それぞれの会場にまかせますが、受講生のアンケートからは次のようなテーマが考えられます。

「これからの大学と教育・研究のありかたについて語ろう」

　　「大学院生の教養とは？　研究者あるいは社会人としてどう生きるか？」

　　「未来社会はどうなるのか？　どう創るのか？」ほか

分科会会場

３会場（Ａ会場～Ｃ会場）に分ける予定です。それぞれ受講生約１８～２０名を予定しています。会場分けは当日掲示します。今回は教室形式ではなく、円状に座って討論します。

講師の先生方の会場移動（案）

分科会１～３の時間切り替えのときにアドバイザの講師の先生が会場を移動します。

会場Ａ　小宮山先生、秋山先生　→　梶田先生、　永井先生　→　横山先生、　坂井先生

会場Ｂ　横山先生、　永井先生　→　小宮山先生、坂井先生　→　梶田先生、　秋山先生

会場Ｃ　梶田先生、　坂井先生　→　横山先生、　秋山先生　→　小宮山先生、永井先生

（これに加えて、１１月の総合討論にも参加した小野塚先生と原島が適宜会場をまわります）

懇親会

正規の講義終了後ですから、参加は義務ではありませんが、受講生同士の交流を期待します。簡単な飲食物（ビール等）を準備します。もちろん会費はありません。

参考：「総合討論」で討論したい話題（受講生アンケートより）

2016-12-15アンケート、12-20原島まとめ

これからの大学と教育・研究のありかたについて語ろう

3　日本の高等教育・教育について・教育の重要性

2　東京大学の問題・これからの大学のありかた・東大のあるべき姿

　1　大学とは何か、高大接続、アカデミアは社会とどうかかわるか。社会人教育・ＭＢＡ

これからの教育・人材育成のありかた、教育開発、教育の改革,

エリートと大衆の断絶について、先端技術と人間の関係、技術と人間、生命倫理

巨大科学のありかた、知識基盤社会における研究開発戦略

大学院生の教養とは？　研究者としてどう生きるか？

　4　教養について・教養教育の重要性・教養の危険性

1　エグゼクティブ教育のありかた、文系と理系の融合の意義

研究者、家庭人、社会人としての自由な生き方（どのようにバランスを取っているか）

研究テーマの選択の仕方、科学者と社会の接点、趣味と仕事の境目

科学知識のない人とどうコミュニケーションをとるべきか

サイエンスコミュニケーション

未来社会はどうなるのか？　どう創るのか？

5　少子高齢化（少子化）・高齢社会のデザイン、

　3　これからの国際関係・国際協力・国際情勢

3　日本の医療制度・医療事故、訴訟リスク

2　未来の社会と仕事の種類

2　法・憲法はどうあるべきか・社会と法

1　これからの日本、将来の問題、日本社会の課題　日本の世界進出

東アジアの国民意識

持続可能な社会づくり、多世代共創社会

これからの働き方、幸福とは、コミュニティ・デザイン

グローバル社会を生き抜く人間とは

民主主義への問いかけ

1　人は「言葉」で惑わされるのか、プロパガンダ、民衆心理、

大衆の反逆と衆愚の回避策、

多数派の現状の意向に反する必要な決定の民主的形成過程実現の可能性

その他

1　ＡＩ、トロンの今後、Open Source社会、社会システム、

経済史的に見た場合の現在の経済政策、労働問題

物質動態（環境学等)視点から見た、新たな社会形態（社会制度含む）

精神的な制約の重要性